

周辺地域と連携した甌島地域の観光活性化に係る調査事業－調査報告書（概要版）

事業の背景・目的

薩摩川内市では、甌島の観光を柱とした地域振興を図るため、「第2次甌島ツーリズムビジョン」を策定し、「甌島ツーリズム推進協議会」（平成27年度設立）において、甌島地域の観光地づくり、ガイド研修や、観光関連業者の情報交換などを積極的に実施してきており、また令和2年8月には甌大橋が完成し、観光の起爆剤として期待が寄せられている。

このような中で、令和2年以降のコロナ禍においては、大々的な誘客施策を控えざるを得なかったことや観光関連事業者の担い手不足、高齢化、観光地として定着しない等の課題を抱えている。

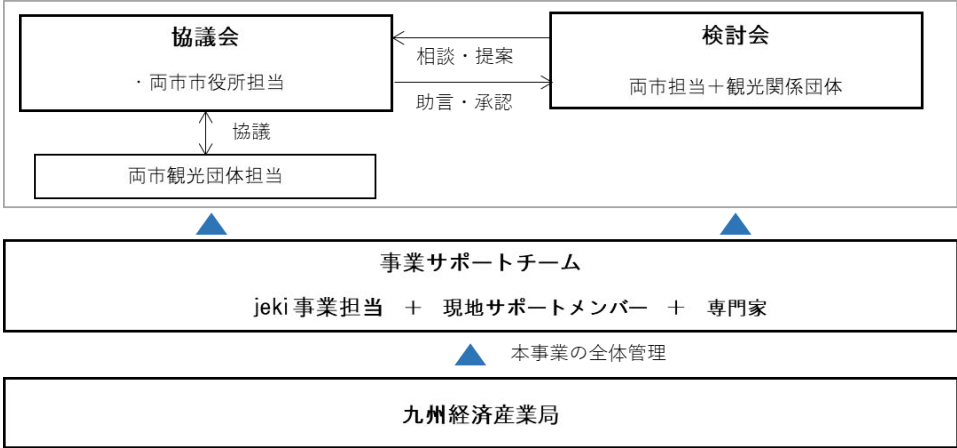
令和3年度はコロナ禍という特殊事情も勘案しながら、甌島と本土が一体となった観光振興の取組みの方向性について、島内事業者との意見交換、並びに両市観光団体・行政との協議を行ったが、活動期間の半分程度が新型コロナウイルス感染症拡大による移動制限等の影響を受け、いくつかの課題を残している。

特に、新型コロナウイルス感染症の影響などの先行きが不透明な中、観光関連ビジネスとして展開するにあたっては、以下の環境整備が課題となっている。

- ① 移動制限の影響を抑えた3エリア（甌島と本土の両市）の観光関係事業者・団体間の円滑なコミュニケーション
- ② 各事業者の各々の個性を際立てつつ、相乗効果を生み出す体制づくり
- ③ 3エリアに共通するテーマ・資源に基づいた広域的な観光誘客の仕組み

本事業では、上記3点に留意しながら、3エリアの広域的な観光誘客の仕組みづくりを目指すことを目的としている。

推進体制



(1) 計画検討会・協議会の開催

<計画検討会>

- 第1回 新しい旅行スタイルの理解促進と課題出し
- 第2回 資源の洗い出し・取組み課題に関する協議
- 第3回 中長期滞在者向けサービス提供企業担当とのオンライン意見交換
- 第4回 モニターツアー行程に関する協議
- 第5回 モニターツアーの結果振り返りと次年度活動の協議

<計画検討会>

- 第1回 本年度事業の実施の方向性
- 第2回 中間報告
- 第3回 最終報告・今後の活動検討

(2) モデルプランの策定と発信

■中・長期滞在者を想定したプラン策定

- 7/4 1回目協議会（基本方針、今年度の活動方針を検討）
⇒両市行政、両市観光団体の意識合わせ、役割り分担を明確化したうえで推進していく方針を確認
- 7/28 1回目計画検討会（ワークショップ&ディスカッション）
⇒両市行政、観光団体担当で、広域観光の活動の方向性について意見交換し、
自ら主体として取組むべきテーマの案出しを行った
- 9/7 2回目計画検討会（3エリア広域観光連携推進についての協議）
⇒両市行政、両市観光団体担当で、3エリア広域の観光連携をテーマに課題出しと解決の
方向性について協議し今後の方針を検討
※既存の観光の取組に加え、本事業では「新規を産み出す」取組みを行う
※今期は外部の協力を得て、負担の少ない形で新しい取組みをスタートする
※両市行政で、今後の広域連携推進のための方針の検討を進める
- 11/24 2回目協議会（基本方針、今年度の活動方針を検討）
⇒これまでの活動を振り返りと今後の進め方について、両市役所担当者と協議
- 12/14 3回目計画検討会（中長期滞在者向けサービス提供企業担当者との意見交換）
中長期滞在者向けに定額住み放題多拠点生活プラットフォームサービスを提供する企業の担当者との
意見交換を通じて、当該エリアでの中長期滞在者を対象とした交流拡大の可能性や今後の取組みの
進め方について協議した。

■モデルプランの効果検証

●1/20 4回目計画検討会 （モニターツアーの対応確認）

中長期滞在者向けサービス提供企業（以下協力事業者）担当者訪問によるモニターツアーに向けた調整状況を共有。当日の対応、行程などについて確認し、最終の調整を行う。

●1/31～2/2 モニターツアー （協力事業者担当者訪問）

専門家・協力事業者担当者による現地訪問を通じ中長期滞在者を対象とした当該エリアの可能性について理解を深め、拠点候補視察・「家守」候補との意見交換等を通じて、今後の展開の方向性の検討につなげる。

●2/3 5回目計画検討会 （次年度以降の活動方針、計画内容協議）

今年度の計画検討、モニターツアーを経て、次年度以降の活動方針、具体的な取り組みの計画について協議。



（3）商材開発による稼ぐ仕組みづくり

■モデルプランに基づく旅行商品造成と販売に向けた調整

<広域旅行商品の造成・販売の方向性>

- ・従来の観光と異なる中長期滞在の旅行者特性を踏まえた交流や地域活動への参加から商品に誘導
- ・完全に新規に限定せずに、既存プログラムのカスタマイズも検討対象とする
- ・地域との交流を促す滞在拠点に関わりながら活動をコーディネートする人材を育成・配置する

■飲食店等地元旅行業者の巻き込みについて

- ・中長期滞在者の行動特性や、地域への関心などを考慮しつつ、コーディネーター人材や、外部の会員制度事業差との連携などによる効果的な取組推進を継続検討する。

今後の方向性等

●全体方針

◎ 事業基本方針 : 両市役所の連携をさらに強化し、甕島を含む3エリアの広域観光・交流人口の拡大を推進する取り組みについて調査・実証を行う

◎ 取り組み内容

- ・ 中長期滞在者をターゲットとするサービス提供企業（以下、協力事業）と連携した拠点整備とエリアの魅力発信、利用・回遊促進を図るプロモーションを展開
- ・ 協力事業のサービスとの連携による成果を波及させるために、両市役所による3エリア広域の観光や交流人口拡大に向けた施策の計画・推進をサポート

●活動展開フレーム

今後の展開フレーム（事務局案）

